

研修で
学校が
変わる

道徳教育推進教師研修

まとめ

令和3年10月15日（金）

Web会議による遠隔研修（各校）



「自信」や「誇り」を育てる 道徳科の授業づくり

講師 島 恒生 氏（畿央大学 教授）

【研修のねらい】

- 「自信」や「誇り」を育てる道徳教育について理解を深め、自校の取組に活かす。

道徳性とは...よりよく生きるための基盤
内面的資質→行いや行動を支える見方や感じ方、考え方

指導観
意識的にプラス志向で！

道徳科

「道徳性」を育てて自立を目指す！

指導も！
評価も！

教育活動全体
での道徳教育

子どもたちの心の中に育ってきて
いる「あるもの」に気付かせる

「学習者は
子ども」

主体的・対話的で深い学び
のある授業

教師が
喋らない
授業

問いが
重要

中心
発問で
追求

授業は板書に表れる
・第三層の主張のある板書を

子どもに納得と発見が生まれる授業
「考え、議論する道徳で！」

チームとなって、みんなで取り組む

推進体制を整える

～ 明日への想い（道徳教育推進教師の声）～

- ・ 中心発問の作り方が大変参考になった。たくさん意見が出ればよいわけではなく、改めて学習指導要領を読み、発達段階や生徒の実態に合う深まる問いを作りたい。道徳のねらいの提示にも挑戦してみたい。
- ・ 教師の敷いたレールの上をトレースするような授業ではなく、児童の現実を踏まえ、「新たな気づき」を「学び」へと昇華できるような授業を構想するための教材研究に活かしたい。
- ・ ねらい、発問にこだわり、指導者の思いに応える道徳科授業からの脱却を図っていききたい。
- ・ 日頃のプラス思考の声かけで道徳的価値を認める声かけをしつつ、プラス思考での授業づくりにシフトしていきたい。何事も子どもと一緒にという姿勢が大切だなと改めて思った。
- ・ 板書で、子どもたちと考えたものが見えたり、beforeとafterが見えたりする板書になるように努力していきたい。教材研究をしっかりした上で、板書し、それを写真で残していきたい。
- ・ 日頃教師が語っている言葉が子どもの中に蓄積され、授業の中で発言として出てくるとことから、改めて、学校教育全体を通じて子どもとの関わり方を意識していきたい。